

林 桂 一 先 生

林 桂一先生が昭和 32 年 7 月 2 日東京で逝去されたことは、九大の松尾教授の学会誌の会員欄への投稿“林 桂一先生の想い出”(42 卷 8 号, p.40) によつて知られた方が多いと思う。わが土木学会の機関誌である土木学会誌がこの偉大な工学者の逝去に対して、谷口三郎氏の場合のように、略歴をかかげて生前の業績をしのぶことをしなかつたのは残念である。これは、林先生がわが国の土木学会の会員ないしは名譽員でなかつたからでもあろうが、これは学会の偏狭さを物語るものにはかならない。

しかしながら、近著の Bauingenieur, Bd. Heft 9 (1957. 9) をみると、先生の逝去が報ぜられ、かつ先生のドイツで出版された著書について下記のように列記してある。

- 1) 弾性基礎上の梁の理論, 1921
- 2) 円函数および双曲線函数の 5 桁の数表, 1921
- 3) 円函数, 双曲線およびその相乗積並びにガンマ函数の 7 桁および

正員 成 岡 昌 夫

それ以上の桁数の数表, 1926

4) ベッセル函数, θ -函数, 球函数およびその他の函数表, 1930

5) 円函数, Zyklometrische 函数, 指数函数, 双曲線函数, 球函数, ベッセル函数, 楕円函数, θ -函数, 自然対数, ガンマ函数の 5 桁の数表, 1930

6) 階差計算並びに双曲線函数, ベッセル函数, 楕円函数およびその他の函数に対する表, 1933

以上が先生がドイツで出版された著書であつて, 2) を除くほかはすべて, Julius Springer, Berlin から出されており, 2) のみは Vereinigung Wissenschaftlicher Verlag, Berlin となつている。

なお, Tables of Bessel Functions $J_0(x)$, $J_1(x)$, $Y_0(x)$, $Y_1(x)$; British Association Mathematical Table VI, London には, 先生の計算されたベッセル函数の表がのつており, このあたりのいきさつについては, 岩波書店の高等函数表 p. 221 に出ている。

先生は第 2 次世界大戦のためにドイツからの出版が不可能となつたため, 以後は岩波書店から数表を出されたり, 戦後は多くの数値解析についての書物を公表された。これらの著書目録は省略する。

松尾教授の御投稿によつて, 業績を伺うことができるが, 個々の書名をあげれば, さらに一層その功績をしのぶことができることと考へ, 筆をとつたわけである。

このような業績をあげた先生が日本学士院会員に推挙せられ, その功績が報いられなかつたことは不思議でならない。

以上, Bauingenieur の記事に上げきされて, 松尾教授の“林 桂一先生の想い出”に蛇筆を加えたわけである。

なお, 先生は明治 36 年 7 月京大卒業, 明治 45 年 2 月 24 日, “弾性基礎上の桁について”(英文)の論文によつて学位を得られている。いわゆる論文提出による工学博士としては, 近藤虎五郎, 柴田畔作, 市瀬恭次郎氏について, 4 番目である。

(筆者: 京都大学教授 工博)

書 評

衛 生 工 学 岩崎富久・田中寅男 著 森北出版 刊

上水道および下水道の Subtitle をつけた本書は, 上水, 下水道の 2 編よりなり, 各章の内容について述べると, 上水道編: 1, 2・総括的事項, 3・取水, 貯水施設, 4・導水, 送水施設, 5・浄水施設, 6, 7, 8・配水施設, 給水装置等, 上水道の要項について最近の研究成果を取り入れ, さらに文献名を付記するなど簡明に記述されているが, 暗渠, 配水塔の計画並びに生物関係の項目は省いている。

下水道編: 1, 2, 3・基本計画の諸事項, 4, 5, 6, 7・下水管の設計並び

に付帯設備, 敷設と管理, 8・私設下水道, 9・ポンプ場, 10, 11, 12, 13, 14, 15・下水処理, 16・下水汚泥の処分等, 最近の研究成果を取り入れ下水道の要項について, 図表, 数表, 計算例をつけ加え懇切な記述を行つている, しかし工場廃水処理の項は省かれている。

なお欲張つた注文であるが, 上水道編に管網の計算例, ろう水調査, 下水道編には配管計画の実例等が望ましい。またこのような編集を行う場合, おちいりやすいことであるが, 両編に共通な公式は記号を統一する

必要があり, かつポンプ, 量水器等重複する事項は, 1カ所にまとめるなどの工夫が望ましい。

しかし両著者はこの道の権威者であり, 技術教育並びに標題に関する著書の経験者であることは周知のとおりで, 本書は大学の教科書として好ましく, かつ上下水道の普及発展の途上にある昨今, 第一線にある若い技術者にとつてもよい参考書であると思う。

著者 岩崎富久: 正員 工博 中央大学教授, 田中寅男: 正員 芝浦工業大学教授, B5 版 400 ページ, 上製函入 定価 800 円 昭和 32 年 12 月 5 日発行。